

I. 令和6年度入学者用

別表第1 (第15条第1項関係)

科目区分	授業科目	地域がん専門医育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
選択必修科目	基礎医科学			1・2	1	2
	応用医科学			1・2	1	2
	臨床医科学			1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論			1・2	2	1
選択科目	細胞生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	細胞生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅳ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
臨床腫瘍学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3	
臨床腫瘍学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3	

選択科目	臨床腫瘍学Ⅴ	○	1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅵ	○	1・2・3・4	2	3
	地域がん治療学	○	1・2・3・4	2	3
	口腔腫瘍学	○	1・2・3・4	2	3
	がん医療社会学	○	1・2・3・4	2	3
	緩和ケア学	○	1・2・3・4	2	3
	分子機能学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	分子機能学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	細胞機能学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	細胞機能学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	細胞内情報制御学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	細胞内情報制御学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅳ		1・2・3・4	2	3
	細胞間情報伝達学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	細胞間情報伝達学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	細胞間情報伝達学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	内分泌・代謝学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	内分泌・代謝学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	内分泌・代謝学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	生体システム学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	生体システム学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	生体機能測定学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	生体機能測定学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	生体機能測定学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	分子病態学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	分子病態学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	分子病態学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	臓器病態学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	臓器病態学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	臓器病態学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅳ		1・2・3・4	2	3
	薬物動態学Ⅰ	○	1・2・3・4	2	3

選択科目	薬物動態学Ⅱ	○	1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学Ⅰ	○	1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学Ⅱ	○	1・2・3・4	2	3
	移植免疫学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	移植免疫学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	感染症学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	感染症学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	感染症学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	細胞間相互作用Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	中毒学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	中毒学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	個人識別学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	個人識別学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	環境医学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	環境医学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	医学・医療情報学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	医学・医療情報学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	総合診療・地域医療学		1・2・3・4	2	3
	医療疫学・統計学		1・2・3・4	2	3
	* Sustainability science and SDGs		1・2・3・4	2	
	* Science for a sustainable society and future Earth		1・2・3・4	1	
	* 特別実践研究(PBL型授業)		1・2・3・4	2	
	* 1 ジョブ型研究インターンシップ		1・2・3・4	2	
	医療のための光工学	○	1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響	○	1・2・3・4	2	3
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学・数学への応用	○	1・2・3・4	2	3
理工医学のための生物材料学及び放射線	○	1・2・3・4	2	3	
知的財産と社会連携	○	1・2・3・4	2	3	

(備考) 研究者育成コース，高度臨床医育成コース及びがん専門医療人育成コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。ただし，がん専門医療人育成コースの選択科目は，専門科目25単位を含むものとする。
総合診療・地域医療コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び総合診療・地域医療学及び医療疫学・統計学を含む選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。
次世代研究者挑戦的研究プログラムの育成生は，*印の授業科目を修得する。

I. 令和6年度入学者用

別表第5（第15条第1項関係）

医療過疎解消のためのグローバル地域医療学人材育成プログラム

科目区分	授業科目	地域医学研究コース（A）	地域医療人コース（B）	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
	Sustainable and SDGs			1・2・3・4	2	
	英語による発表			1・2・3・4	2	
	特別実習			1・2・3・4		1
選択必修科目	基礎医科学	(○)		1・2	1	2
	応用医科学	(○)		1・2	1	2
	臨床医科学		(○)	1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論	(○)	(○)	1・2	2	1
	感染症学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	環境医学Ⅱ		○	1・2・3・4	2	3
	総合診療・地域医療学		○	1・2・3・4	2	3
選択科目	抗体やワクチンによる感染症の予防・診断・治療			1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	地域がん治療学			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	* Science for a sustainable society and future Earth 【医理工農連携】			1・2・3・4	1	
	医療のための光工学			1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響			1・2・3・4	2	3
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学・数学の応用			1・2・3・4	2	3
	理工医学のための生物材料学及び放射線			1・2・3・4	2	3
(備考)	必修科目7単位、選択必修科目13単位〔○を付した2科目及び、(○)を付した3科目（コースA）または2科目（コースB）から1科目を修得すること〕、選択科目10単位を含む計30単位以上を修得する。					

II. 令和5年度入学者用

別表第1 (第15条第1項関係)

科目区分	授業科目	地域がん専門医育成の専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
選択必修科目	基礎医科学			1・2	1	2
	応用医科学			1・2	1	2
	臨床医科学			1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論			1・2	2	1
選択科目	細胞生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	細胞生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅳ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅰ		○	1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅱ		○	1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅰ		○	1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅱ		○	1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅲ		○	1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅳ		○	1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅰ		○	1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅱ		○	1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅲ		○	1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅳ		○	1・2・3・4	2	3
臨床腫瘍学Ⅴ		○	1・2・3・4	2	3	

選択科目	臨床腫瘍学Ⅵ	○	1・2・3・4	2	3
	地域がん治療学	○	1・2・3・4	2	3
	口腔腫瘍学	○	1・2・3・4	2	3
	がん医療社会学	○	1・2・3・4	2	3
	緩和ケア学	○	1・2・3・4	2	3
	分子機能学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	分子機能学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	細胞機能学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	細胞機能学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	細胞内情報制御学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	細胞内情報制御学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅳ		1・2・3・4	2	3
	細胞間情報伝達学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	細胞間情報伝達学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	細胞間情報伝達学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	内分泌・代謝学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	内分泌・代謝学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	内分泌・代謝学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	生体システム学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	生体システム学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	生体機能測定学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	生体機能測定学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	生体機能測定学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	分子病態学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	分子病態学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	分子病態学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	臓器病態学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	臓器病態学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	臓器病態学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅳ		1・2・3・4	2	3
薬物動態学Ⅰ	○	1・2・3・4	2	3	
薬物動態学Ⅱ	○	1・2・3・4	2	3	

選択科目	基礎免疫学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学Ⅰ	○	1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学Ⅱ	○	1・2・3・4	2	3
	移植免疫学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	移植免疫学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	感染症学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	感染症学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	感染症学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	細胞間相互作用Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	中毒学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	中毒学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	個人識別学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	個人識別学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	環境医学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	環境医学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	医学・医療情報学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	医学・医療情報学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	総合診療・地域医療学		1・2・3・4	2	3
	医療疫学・統計学		1・2・3・4	2	3
	*Sustainability science and SDGS		1・2・3・4	2	
	*Science for a sustainable society and future Earth		1・2・3・4	1	
	*特別実践研究（PBL型授業）		1・2・3・4	2	
	医療のための光工学	○	1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響	○	1・2・3・4	2	3
臨床医学と社会・環境医学への高度情報学・数学の応用	○	1・2・3・4	2	3	
理工医学のための生物材料及び放射線	○	1・2・3・4	2	3	
知的財産と社会連携	○	1・2・3・4	2	3	
(備考)	<p>研究者育成コース，高度臨床医育成コース及びがん専門医療人育成コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。ただし，がん専門医療人育成コースの選択科目は，専門科目25単位を含むものとする。</p> <p>総合診療・地域医療コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び総合診療・地域医療学及び医療疫学・統計学を含む選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。</p> <p>次世代研究者挑戦的研究プログラムの育成生は，*印の授業科目を修得する。</p>				

II. 令和5年度入学者用

別表第5（第15条第1項関係）

医療過疎解消のためのグローバル地域医療学人材育成プログラム

科目区分	授業科目	地域医学研究 コース（A）	地域医療人 コース（B）	授業を行う 年次	単位数	
					講義 演習	実験 実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
	持続性科学とSDGs			1・2・3・4	2	
	英語による発表			1・2・3・4	2	
	特別実習			1・2・3・4		1
選択 必修科目	基礎医科学	○		1・2	1	2
	応用医科学	○		1・2	1	2
	臨床医科学		○	1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論	○	○	1・2	2	1
	感染症学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	環境医学Ⅱ		○	1・2・3・4	2	3
	総合診療・地域医療学		○	1・2・3・4	2	3
選択科目	抗体やワクチンによる感染症の 予防・診断・治療			1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	地域がん治療学			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	* Science for a sustainable society and future Earth			1・2・3・4	1	
	【医理工農連携】					
	医療のための光工学			1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と 環境影響			1・2・3・4	2	3
	臨床医学と社会・環境医学への 高度情報学・数学の応用			1・2・3・4	2	3
理工医学のための生物材料学及 び放射線			1・2・3・4	2	3	
(備考)	必修科目7単位、選択必修科目13単位〔○を付した2科目及び、○を付した3科目（コースA）または2科目（コースB）から1科目を修得すること〕、選択科目10単位を含む計30単位以上を修得する。					

Ⅲ. 令和4年度入学者用

別表第1（第11条第1項関係）

科目区分	授業科目	がん専門医療人育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
選択必修科目	基礎医科学			1・2	1	2
	応用医科学			1・2	1	2
	臨床医科学			1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論			1・2	2	1
選択科目	細胞生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	細胞生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅳ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
臨床腫瘍学Ⅴ	○		1・2・3・4	2	3	
臨床腫瘍学Ⅵ	○		1・2・3・4	2	3	
地域がん治療学	○		1・2・3・4	2	3	

科目区分	授業科目	がん専門 医療人育 成コース の専門科 目	医理工農 連携プロ グラム開 設科目	授業を行う 年次	単位数		
					講義 演習	実験 実習	
選択科目	口腔腫瘍学	○		1・2・3・4	2	3	
	がん医療社会学	○		1・2・3・4	2	3	
	緩和ケア学	○		1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	薬物動態学Ⅰ		○		1・2・3・4	2	3
	薬物動態学Ⅱ		○		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅰ				1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅱ				1・2・3・4	2	3

科目区分	授業科目	がん専門医療人育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数		
					講義演習	実験実習	
選択科目	臨床免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臨床免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間相互作用Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療・地域医療学			1・2・3・4	2	3	
	医療疫学・統計学			1・2・3・4	2	3	
	* Sustainability science and SDGs			1・2・3・4	2		
	* Science for a sustainable society and future Earth			1・2・3・4	1		
	* 特別実践研究(PBL型授業)			1・2・3・4	2		
	医療のための光工学				○	1・2・3・4	2 3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響				○	1・2・3・4	2 3
	医生物学への数学・情報科学の応用				○	1・2・3・4	2 3
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用				○	1・2・3・4	2 3
	理工医学のための生物材料学				○	1・2・3・4	2 3
放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ				○	1・2・3・4	2 3	
知的財産と社会連携				○	1・2・3・4	2 3	
(備考)	<p>研究者育成コース，高度臨床医育成コース及びがん専門医療人育成コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。ただし，がん専門医療人育成コースの選択科目は，専門科目25単位を含むものとする。</p> <p>総合診療・地域医療コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び総合診療・地域医療学及び医療疫学・統計学を含む選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。</p> <p>次世代研究者挑戦的研究プログラムの育成生は，*印の授業科目を修得する。</p>						

IV. 令和3年度入学者用

別表第1 (第11条第1項関係)

科目区分	授業科目	がん専門医療人育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
選択必修科目	基礎医科学			1・2	1	2
	応用医科学			1・2	1	2
	臨床医科学			1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論			1・2	2	1
選択科目	細胞生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	細胞生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅳ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
臨床腫瘍学Ⅴ	○		1・2・3・4	2	3	
臨床腫瘍学Ⅵ	○		1・2・3・4	2	3	
地域がん治療学	○		1・2・3・4	2	3	

科 目 区 分	授 業 科 目	がん専門 医療人育 成コース の専門科 目	医理工農 連携プロ グラム開 設科目	授業を行う 年次	単 位 数		
					講義 演習	実験 実習	
選択科目	口腔腫瘍学	○		1・2・3・4	2	3	
	がん医療社会学	○		1・2・3・4	2	3	
	緩和ケア学	○		1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	薬物動態学Ⅰ		○		1・2・3・4	2	3
	薬物動態学Ⅱ		○		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅰ				1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅱ				1・2・3・4	2	3

科目区分	授業科目	がん専門医療人育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数		
					講義演習	実験実習	
選択科目	臨床免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臨床免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間相互作用Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療・地域医療学			1・2・3・4	2	3	
	医療疫学・統計学			1・2・3・4	2	3	
	医療のための光工学			○	1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響			○	1・2・3・4	2	3
	医生物学への数学・情報科学の応用			○	1・2・3・4	2	3
臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			○	1・2・3・4	2	3	
理工医学のための生物材料学			○	1・2・3・4	2	3	
放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ			○	1・2・3・4	2	3	
知的財産と社会連携			○	1・2・3・4	2	3	
(備考)	<p>研究者育成コース，高度臨床医育成コース及びがん専門医療人育成コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。ただし，がん専門医療人育成コースの選択科目は，専門科目25単位を含むものとする。</p> <p>総合診療・地域医療コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び総合診療・地域医療学及び医療疫学・統計学を含む選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。</p>						

V. 令和2年度入学者用

別表第1（第11条第1項関係）

科目区分	授業科目	がん専門医療人育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
選択必修科目	基礎医科学			1・2	1	2
	応用医科学			1・2	1	2
	臨床医科学			1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論			1・2	2	1
選択科目	細胞生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	細胞生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅳ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
臨床腫瘍学Ⅴ	○		1・2・3・4	2	3	
臨床腫瘍学Ⅵ	○		1・2・3・4	2	3	
地域がん治療学	○		1・2・3・4	2	3	

科目区分	授業科目	がん専門 医療人育 成コース の専門科 目	医理工農 連携プロ グラム開 設科目	授業を行う 年次	単位数		
					講義 演習	実験 実習	
選択科目	口腔腫瘍学	○		1・2・3・4	2	3	
	がん医療社会学	○		1・2・3・4	2	3	
	緩和ケア学	○		1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	薬物動態学Ⅰ		○		1・2・3・4	2	3
	薬物動態学Ⅱ		○		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅰ				1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅱ				1・2・3・4	2	3

科目区分	授業科目	がん専門医療人育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数		
					講義演習	実験実習	
選択科目	臨床免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臨床免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間相互作用Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	地域医療学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	地域医療学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医療疫学・統計学			1・2・3・4	2	3	
	医療のための光工学			○	1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響			○	1・2・3・4	2	3
	医生物学への数学・情報科学の応用			○	1・2・3・4	2	3
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			○	1・2・3・4	2	3
	理工医学のための生物材料学			○	1・2・3・4	2	3
放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ			○	1・2・3・4	2	3	
知的財産と社会連携			○	1・2・3・4	2	3	
(備考)	<p>研究者育成コース，高度臨床医育成コース及びがん専門医療人育成コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。ただし，がん専門医療人育成コースの選択科目は，専門科目25単位を含むものとする。</p> <p>地域医療指導者育成コースは，総合診療学Ⅰ，総合診療学Ⅱ及び医療疫学・統計学を含む必修科目17単位，選択必修科目3単位及び選択科目10単位を含む計30単位以上を修得する。</p>						

VI. 平成30・31年度入学者用

別表第1（第11条第1項関係）

科目区分	授業科目	がん専門医療人育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
選択必修科目	基礎医科学			1・2	1	2
	応用医科学			1・2	1	2
	臨床医科学			1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論			1・2	2	1
選択科目	細胞生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	細胞生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅳ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
臨床腫瘍学Ⅴ	○		1・2・3・4	2	3	
臨床腫瘍学Ⅵ	○		1・2・3・4	2	3	
地域がん治療学	○		1・2・3・4	2	3	

科目区分	授業科目	がん専門 医療人育 成コース の専門科 目	医理工農 連携プロ グラム開 設科目	授業を行う 年次	単位数		
					講義 演習	実験 実習	
選択科目	口腔腫瘍学	○		1・2・3・4	2	3	
	がん医療社会学	○		1・2・3・4	2	3	
	緩和ケア学	○		1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	薬物動態学Ⅰ		○		1・2・3・4	2	3
	薬物動態学Ⅱ		○		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅰ				1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅱ				1・2・3・4	2	3

科目区分	授業科目	がん専門医療人育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数		
					講義演習	実験実習	
選択科目	臨床免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臨床免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間相互作用Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	地域医療学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	地域医療学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医療疫学・統計学			1・2・3・4	2	3	
	医療のための光工学			○	1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響			○	1・2・3・4	2	3
	医生物学への数学・情報科学の応用			○	1・2・3・4	2	3
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			○	1・2・3・4	2	3
	理工医学のための生物材料学			○	1・2・3・4	2	3
放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ			○	1・2・3・4	2	3	
知的財産と社会連携			○	1・2・3・4	2	3	
(備考)	<p>研究者育成コース，高度臨床医育成コース及びがん専門医療人育成コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。ただし，がん専門医療人育成コースの選択科目は，専門科目25単位を含むものとする。</p> <p>地域医療・地域包括ケア指導者育成コースは，総合診療学Ⅰ，総合診療学Ⅱ及び医療疫学・統計学を含む必修科目17単位，選択必修科目3単位及び選択科目10単位を含む計30単位以上を修得する。</p>						

VII. 平成28年度・平成29年度入学者用

別表第1（第11条第1項関係）

科目区分	授業科目	地域がん専門医育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
選択必修科目	基礎医科学			1・2	1	2
	応用医科学			1・2	1	2
	臨床医科学			1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論			1・2	2	1
選択科目	細胞生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	細胞生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅳ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅴ	○		1・2・3・4	2	3
臨床腫瘍学Ⅵ	○		1・2・3・4	2	3	
地域がん治療学	○		1・2・3・4	2	3	

科目区分	授業科目	地域がん専門育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数		
					講義演習	実験実習	
選択科目	口腔腫瘍学	○		1・2・3・4	2	3	
	がん医療社会学	○		1・2・3・4	2	3	
	緩和ケア学	○		1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	薬物動態学Ⅰ		○		1・2・3・4	2	3
	薬物動態学Ⅱ		○		1・2・3・4	2	3
基礎免疫学Ⅰ				1・2・3・4	2	3	
基礎免疫学Ⅱ				1・2・3・4	2	3	

科目区分	授業科目	地域がん専門医育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数		
					講義演習	実験実習	
選択科目	臨床免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臨床免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間相互作用Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	地域医療学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	地域医療学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医療疫学・統計学			1・2・3・4	2	3	
	医療のための光工学			○	1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響			○	1・2・3・4	2	3
	医生物学への数学・情報科学の応用			○	1・2・3・4	2	3
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			○	1・2・3・4	2	3
	理工医学のための生物材料学			○	1・2・3・4	2	3
放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ			○	1・2・3・4	2	3	
知的財産と社会連携			○	1・2・3・4	2	3	
(備考)	<p>研究者育成コース，高度臨床医育成コース及び地域がん専門医育成コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。ただし，地域がん専門医育成コースの選択科目は，専門科目25単位を含むものとする。</p> <p>地域医療・地域包括ケア指導者育成コースは，総合診療学Ⅰ，総合診療学Ⅱ及び医療疫学・統計学を含む必修科目17単位，選択必修科目3単位及び選択科目10単位を含む計30単位以上を修得する。</p>						

VIII. 平成26年度・平成27年度入学者用

別表第1 (第11条第1項関係)

科目区分	授業科目	地域がん専門医育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数	
					講義演習	実験実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
選択必修科目	基礎医科学			1・2	1	2
	応用医科学			1・2	1	2
	臨床医科学			1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論			1・2	2	1
選択科目	細胞生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	細胞生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	組織・器官系の構造と機能Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅳ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	発生生物学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	先天異常Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	老化Ⅲ			1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	発癌Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	腫瘍生物学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅲ	○		1・2・3・4	2	3
	臨床腫瘍学Ⅳ	○		1・2・3・4	2	3
臨床腫瘍学Ⅴ	○		1・2・3・4	2	3	
臨床腫瘍学Ⅵ	○		1・2・3・4	2	3	
地域がん治療学	○		1・2・3・4	2	3	

科 目 区 分	授 業 科 目	地 域 が ん 専 門 医 育 成 コ ー ス の 専 門 科 目	医 理 工 農 連 携 プ ロ グ ラ ム 開 設 科 目	授 業 を 行 う 年 次	単 位 数		
					講 義 演 習	実 験 実 習	
選 択 科 目	口腔腫瘍学	○		1・2・3・4	2	3	
	がん医療社会学	○		1・2・3・4	2	3	
	緩和ケア学	○		1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞機能学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞内情報制御学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	神経科学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間情報伝達学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	内分泌・代謝学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体システム学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体機能測定学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	分子病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	臓器病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	生体病態学Ⅳ			1・2・3・4	2	3	
	薬物動態学Ⅰ		○		1・2・3・4	2	3
	薬物動態学Ⅱ		○		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅰ				1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅱ				1・2・3・4	2	3

科目区分	授業科目	地域がん専門医育成コースの専門科目	医理工農連携プログラム開設科目	授業を行う年次	単位数		
					講義演習	実験実習	
選択科目	臨床免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	臨床免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3	
	腫瘍免疫学Ⅱ	○		1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	移植免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	感染症学Ⅲ			1・2・3・4	2	3	
	細胞間相互作用Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	中毒学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	個人識別学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	環境医学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	医学・医療情報学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	地域医療学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	地域医療学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療学Ⅰ			1・2・3・4	2	3	
	総合診療学Ⅱ			1・2・3・4	2	3	
	医療のための光工学			○	1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響			○	1・2・3・4	2	3
	医生物学への数学・情報科学の応用			○	1・2・3・4	2	3
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			○	1・2・3・4	2	3
理工医学のための生物材料学			○	1・2・3・4	2	3	
放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ			○	1・2・3・4	2	3	
知的財産と社会連携			○	1・2・3・4	2	3	
(備考)	<p>研究者育成コース，高度臨床医育成コース及び地域がん専門医育成コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。ただし，地域がん専門医育成コースの選択科目は専門科目25単位を含むものとする。</p> <p>総合診療医指導者育成コースは，総合診療学Ⅰ及び総合診療学Ⅱを含む必修科目12単位，選択必修科目3単位及び選択科目15単位を含む計30単位以上を修得する。</p>						